

# 農業の新しい技術

No. 691(平成27年5月)  
分類コード 01-14  
熊本県農林水産部

## 黒毛和種種雄牛「<sup>ふくひさざくら</sup>福久桜」の選抜

農業研究センター 畜産研究所生産基礎技術研究室  
担当者：安武誠至

### 研究のねらい

産肉能力直接検定で選抜された種雄牛の遺伝的能力を推定するため、後代牛による産肉能力現場後代検定を実施し、その肥育及び産肉能力により優秀な種雄牛を選抜する。

### 研究の成果

1. 脂肪交雑、ロース芯面積が抜群に優れた黒毛和種種雄牛「福久桜」を選抜した。

○血統

父 安福久 (黒原 4416)	祖父 安福165の9(黒原 1683)	— 安福(岐阜)(黒育 180)
	祖母 もとじろう(黒 1868119)	— 紋次郎(黒育 938)
母 第4ひろみ (黒 2045439)	祖父 福桜(黒原 2445)	— 隆桜(黒高 905)
	祖母 203ひがしわき(黒原 881217)	— 糸弘2(黒高 851)

○登録番号：黒原5404(82.7)

○生年月日：平成21年5月18日

○生産地：球磨郡湯前町

2. 現場後代検定成績および育種価

○脂肪交雑(BMSNo.)は11が2頭、9が1頭生産されており、平均では去勢6.21、雌5.45と優れ、育種価においても1.77(評価種雄牛497頭中86位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○ロース芯面積は去勢 $56.0\text{ cm}^2$ 、雌 $55.6\text{ cm}^2$ と優れており、育種価でも13.40(評価種雄牛497頭中122位)と極めて高く、優れた能力を有すると推定される。

○SBVは脂肪交雑1.91、ロース芯面積1.71と改良効果が大きいと推定される。

※SBV(標準化育種価)は、育種価評価値を個体の特徴を明確にするために、数値に変換したもの。

3. 特徴

脂肪交雑が県有種雄牛の中でトップクラスにあり、ロース芯面積についても優れた成績がえられ、バランスよく高い成績が期待される種雄牛です。

血統についても名牛「安福久」の産子であり、今後の活躍がとて期待できます。



福久桜 (ふくひさざくら)

表1 現場後代検定成績

区分	頭数	枝肉重量 (冷と体) (kg)	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積 (cm <sup>2</sup> )	バラの 厚さ (cm)	皮下脂肪 の厚さ (cm)	日齢枝肉 重量 (g)
去勢	1 4	460.3	6.21	59.1	7.4	2.5	530.1
雌	1 1	447.2	5.45	52.2	7.8	3.3	469.5

表2 育種価(BV) (H27.1 評価)

	枝肉重量	脂肪交雑 (BMS No.)	ロース 芯面積	バラの 厚さ	皮下脂肪 の厚さ
順位	5 5 2	8 6	1 2 2	5 1 2	1, 4 9 2
育種価 (正確度)	33.10 (0.93)	1.77 (0.93)	13.40 (0.92)	1.57 (0.99)	-0.23 (0.92)

※ 後代頭数 2 8 頭(フィールド成績を含む)

※ 順位は評価種雄牛 2, 255 頭中の順位

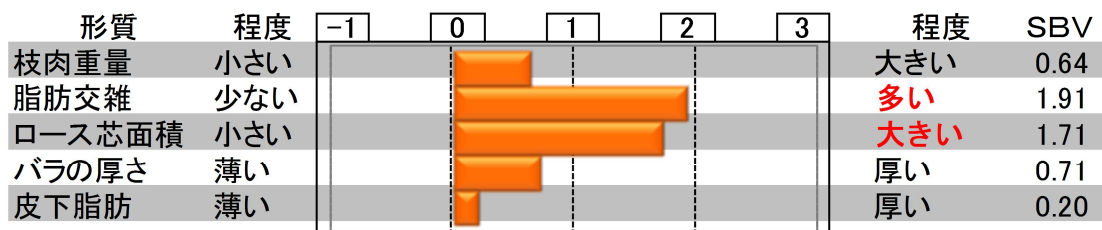


図1 SBV (標準化育種価)